

議長／皆さんおはようございます。

前日に引き続き、本日の会議を開きます。

日程に基づき、市政事務に対する一般質問を開始いたします。

最初に 6 番吉原議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

6 番 吉原議員

吉原議員／おはようございます。

ただいま議長から登壇の許可をいただきましたので、6 番吉原新司、令和 7 年 3 月定例会一般質問を始めさせていただきます。

一般質問も 4 日目ということになりましたのでもう前置きは省きまして、早速進めていきたいと思います。

今回の一般質問は道路行政ということで、1 つ目に国道 498 号について、2 つ目に市道閻魔王線について、周辺の皆さんのお声を聞き切実な声を質問へつなげていきたいと思います。それでは、1 つ目の国道 498 号について。

国道 498 号とは、鹿島市の国道 207 号殿ノ橋交差点を起点とし、武雄市、伊万里市を通り佐世保市役所前を終点とする一般国道であることは皆さん御存じのことかとは思いますが。

武雄市においては平成 30 年 9 月 8 日、国道 498 号若木バイパスが開通しました。

それから 6 年半が過ぎたわけですが、その後、目に見える形での進捗が感じられません。

市民の方からも、若木バイパスで終わりですかという声も伺います。

若木バイパスの開通以降、この国道 498 号バイパス整備についてどのように進められているのか、また、令和 7 年度以降はどのような計画がなされているのか、まずはお尋ねをいたします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／おはようございます。

議員御質問の国道 498 号の進捗状況でございますが、先ほど御紹介ありましたとおり、平成 30 年 9 月に国道 498 号若木バイパスが開通し、それ以降、武雄市区間につきましては、国道 34 号の交差点、北方工区と申しますが、その改良工事に伴う用地買収が進められております。また、国道 34 号との交差点である二俣交差点から鹿島市までにおいて、新規のルート検討を行うよう国道 498 号整備促進期成会で令和 5 年度に県へ要望を行い、県は期成会の要望を受け、令和 6 年に 1 キロ幅でのルート帯を公表されました。

令和 7 年度以降につきましては北方工区の工事着手に準備や、武雄から鹿島まで公表された

ルート帯について地域の特性を考慮しながら1キロ幅から絞り込みを行い、具体的なルートの検討を進められることとなります。

議長／6番 吉原議員

吉川議員／御説明いただきました。

武雄においては北方の34号交差点あたりが先に進んでいくのかなと思うところです。

また、二俣から鹿島までのルートが公表をされているようです。

今の説明を聞いておりますと、北方、橘、塩田、鹿島の整備を何か優先されているように感じるところであります。

北方、橘においては、水害の際、国道498号が冠水し、通行ができなくなったという経緯もございますので、早急に冠水しないようなバイパスの整備が必要だとは思いますが、塩田、鹿島よりも先に整備していただきたいと思うのが、やっぱり若木バイパスを朝日方面に延伸していただくことです。

私の地元、朝日町において、この国道498号は交通量が多く、事故が多発したり危険な箇所がございます。

地元住民の方から、怖い、危ないという声が頻繁に耳に入っております。

その一つが、モニターに出しております繁昌地区の戸坂峠です。

峠と名前がつくとおり、坂道である上に、カーブが連続しており、度々事故が発生している場所であります。

この国道498号繁昌地区の状況については、平成31年3月定例会、そして、令和2年6月定例会の一般質問でも取上げ、事故が起こらないような注意喚起や安全対策ができないかなどの質問をさせていただいております。

そのような中、令和元年12月には繁昌地区の公民館前横断歩道で伊万里方面から走ってきた車に歩行者がはねられ死亡するという痛ましい事故も発生しました。

モニターに、繁昌地区戸坂峠のカーブ4か所の写真を出しております。

令和2年6月の一般質問で使った写真が左側、最近の写真が右側です。

左右の写真を比較してみますと、右側の写真には中央線と外側線の内側に破線がつけられているのが分かります。

これまで2度の一般質問で事故が起こらないような注意喚起や安全対策をと申してまいりましたが、道路に破線をつける程度しかありません。

この破線というのは、追突事故の多い区間で幅員を狭く見せることによる減速効果が期待できるとされているようですが、この戸坂峠において効果が出ているのか疑問に思うところです。

この破線がついて事故が減ったという声を聞くどころか、また事故が起きていましたよという声を度々伺います。

次のモニターの写真で分かると思いますが、この破線をつけられた後もガードレールや壁などに車両が追突した形跡が多数残されております。

左上の写真は国道 498 号の道路番号標識、これにぶつかって、もう倒されてしまっております。

左側中央の写真がコンクリートの壁に追突した跡です。

左下の写真は、この場所に自動車が突っ込み横転をしていたという事故現場で、一段積みブロックですけれども新しいものに変えてあります。

右上写真はガードレールの縁に車が接触し、固いガードレールが曲がっております。

右側中央の写真は家屋の石垣に車が突っ込み壊されたため、石垣を新しくされております。ここは当て逃げされたということのようでした。

右下の写真は、電柱、電信柱にも接触した形跡が残されております。

次のモニター写真は、事故により破損した箇所を修理された跡です。

上側の写真は先ほど御紹介した箇所も入っておりますが、コンクリートや石垣、ブロック積みなどが修理された跡で、下側の写真はガードレールが破損したため取り替えられた形跡です。

ガードレールにおいては、ほかにも至るところで取り替えがなされております。

そこで、武雄警察署にこの繁昌地区戸坂峠一帯で事故がどれぐらい起きているのかお尋ねをいたしました。

頂いた事故件数が次のモニターです。

過去 8 年の繁昌区戸坂峠一帯における事故発生状況を表にして表しております。

令和 2 年 6 月議会一般質問以降、路面に破線をつけられていますので、令和 3 年か令和 4 年には破線がついていたと思います。

その令和 3 年か 4 年を境に事故件数が減っていれば破線の効果が出たと考えられますが、この数字はどうでしょう。

破線の効果が出たと言えないのではないかと思います。

交通課の方は、その年その年の天候でも数は変動するとは言っておられましたが、道路破線のおかげで事故が減っているとは到底言い難い数字なのではないかと思います。

このように事故が減らない状況、市はどのように受け止めておられるか見解をお願いします。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／おはようございます。

議員がお示すとおり、事故件数につきましては設置後 10 件前後で推移しており、画期的な対策とはなっておらず、道路管理者である佐賀県にさらなる対策ができないか検討をお願いしてまいります。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／もうこれは事故多発地帯、魔のカーブといっても過言ではありません。

市のほうでも事故が減らない状況というのは認識をしておられるようです。

次の写真は、杵藤クリーンセンター跡地入り口付近のガードレールの写真であります。

写真で分かると思いますが、このガードレールには車両が頻繁に追突をしています。

左上側に 2 枚写真をつけておりますが、その写真はこのガードレールの裏側の写真になります。

相当な高さの絶壁になっていることが分かると思います。

自家用車が衝突してガードレールを突き破ることはないと思いますけれども、この場所は大型トラックの通行が非常に多い道路です。

大型トラックであれば、このガードレールに衝突すれば突き破って下に転落することも十分考えられるのではないのでしょうか。

国道 498 号バイパスが整備されればこのような事故の多発は抑えられると、周辺の方々は言うておられます。

しかし、現時点で、先ほど御紹介いただいたように、バイパスの整備の計画、まだこの戸坂峠には全然話も出てきていないような感じですので、いつになるか分からないというふうに皆さん地元の方も思っておられます。

では、違った観点から考えた場合どうなのか。

もし、令和元年、令和 3 年の水害に匹敵するような災害が発生した場合、伊万里、唐津などからの物資の搬入や救援隊受入れなどを兼ねた重要なアクセス道路にはどのルートを考えられますか、お尋ねいたします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／伊万里、唐津方面からの武雄へのアクセスルートといたしましては、国道 498 号のほか、県道伊万里山内線、県道武雄伊万里線、県道相知山内線があると考えております。

特に議員御紹介のとおり、国道 498 号は伊万里、唐津からの重要なルートの一つであるという認識でございます。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／いろんなルートありはするんですけどね、やっぱりもう馬神トンネルを越えて入ってきても北方は冠水していたわけですから、もう唐津方面からだったらもうやっぱり 498 が重要なルートというふうになると思います。

そのような戸坂峠、国道 498 号であるわけです。

そして、先ほど水害の話しましたが、令和元年と 3 年の水害の際、災害ごみ集積場として杵藤クリーンセンター跡地が活用されました。

画像にも載っておりますけれど、その際、災害ごみの搬入ルートとなったのも事故が多発している国道 498 号、戸坂峠です。

単に交通量が多く事故が多発している場所と捉えるだけでなく、災害発生時、重要な役割を果たす場所でもあるわけです。

そのようなことから、市としても重要なポイントであることを認識していただき、何らかの対応、対策を考えていただければと思うところです。

杵藤クリーンセンター跡地を災害ごみ集積場に活用したことを申しましたが、その際、災害ごみを持ち込む車両で大渋滞が発生したことは御存じかと思います。

また、この冬、積雪、凍結がございました。

積雪や凍結に弱いのもこの国道 498 号、戸坂峠です。

冬用タイヤであれば乗用車はかろうじて戸坂峠を上っていきますが、ホイールベースの長いトラックなどは、冬用タイヤを装着していても坂を上りきれなくなったり、下り坂でスリップしたりして立ち往生になって、最悪、通行ができなくなるということも起こる場所でもあります。

いろんな問題を抱えている場所でありながら、この 1 本の道路に頼らざるを得ないのが現状です。

そのような問題を回避するには、もう一本別の道路が整備されれば解消できるのではないかと考えます。

しかるべき場所に県道もしくは市道の整備ができれば、国道 498 号、戸坂峠の交通量減少、それに伴い事故の減少、また、災害発生時のアクセス道路の充実につながるのではないかと、いうふうに考えますがいかがでしょう。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／議員御提案の別ルートでの整備となりますと、改めてルートの検討、

それから設計、用地補償など、また時間をかなり要すると考えられます。

また、市道での整備となりますと市の負担も大きくなりますので、現段階において別ルートでの整備は考えておりません。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／答弁いただきましたけれど、確かに道路を新しく整備するということは簡単なことではありません。

しかしながら、今の状況が続くことは、周辺の方々強い警戒感を持たれております。

戸坂峠周辺の国道 498 号バイパス整備着工が見えない状況であるならば、周辺の方々の不安や警戒感を払拭できるような対策、これを考える必要があると思います。

そのような状況を踏まえ、国道 498 号整備促進期成会のほうへ早期の整備を強く要望していただきたいと思いますし、杵藤土木事務所のほうへも打開策の検討をお願いしたいと思います。

そして、市においても戸坂峠周辺を我がごとと考えていただき、防災の観点からも見て何らかの対応策が取れないかということを考えていただきたいと思いますがいかがでしょう。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／国道 498 号の若木バイパスから、現在事業化されています北方工区までの間、要は戸坂峠付近につきましては計画は未だにございません。

期成会におきまして早期事業化に向けまして強く要望してまいりたいと存じます。

なお、議員御提案の別ルートでの市道の道路計画は、改めて申しますが計画は現在ございません。

それから、杵藤土木事務所につきましては、安全対策についてさらに強く要望してまいりたいと思っております。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／よろしくをお願いしたいと思います。

そして、もう一か所、国道 498 号、怖い、危ないという声を聞くのが川上交差点になります。

この交差点は国道 498 号に県道 331 号が合流する交差点となります。

この交差点については、以前、牟田議員からも質問がなされていたと思いますが、不満の声を多く聞く交差点であります。

その中で最近よく聞くようになったのが、信号無視をする車が多くなったという声を聞きます。

黄色信号や赤信号に変わっているのに交差点に進入してくる車両を度々見かけると。

そのような車両と接触事故寸前だったと話される方もおられました。

モニターに赤色矢印をつけておりますように、この交差点は武雄北方インターや国道 34 号側から伊万里方面に向かう車、それに武雄市街地方面から県道 331 号をまた伊万里方面に行く車。

逆に、伊万里方面から国道 34 号や武雄北方インターに行く車と、伊万里側から武雄市街地側に行く車両が、この赤の矢印の部分が特に多いルートになります。

昼間の時間帯はある程度スムーズに流れておりますけれども、朝夕の交通量は、ここは激増するようです。

道路は直進が優先でありますので、国道 498 号を行き来する車は、ある程度スムーズに流れます。

そのため、若木方面から来て右折しようとする車、これは直進が途切れない限り右折できません。

信号に 5 秒ほど時間差をつけてあるようですけれども、5 秒間の間に右折できる車両というのは数台。

県道 331 号から来て、国道 498 号に合流しようとする車も、逆の方向ですね武雄側からも、昼間はスムーズに流れております。

しかし、ここも朝夕は交通量が激増して、30 秒ぐらいの青信号なんですよ。

もう 30 秒ぐらいの青信号で通過できる車両以上に、この交差点に集まってくる車両のほうが多いということになっているようです。

そのようなことから、信号待ちの回数が増え、いらだちなどから信号が変わっても通過しようとする車が多いように感じます。

朝夕は、次のモニターのような状況になり、渋滞します。

この若木方面は相当、もう 6 時とか 6 時半なんかは、もう非常に長蛇の列が並ぶ交差点であります。

このような朝夕の混雑を起こしている交差点であるということは、市のほうでも認識されておりますか。

お尋ねします。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／混雑するのは朝と夕方の時間帯で、多いときには交差点から若木方面の円

照寺まで渋滞が発生しているという声があることは認識しております。

議長／6番 吉原議員

吉原議員／円照寺までという、今、表現がありましたけども、昨日も6時頃、私通ったのですけれども、円照寺よりも先まで並んでおりました。

そういう状況であります。

これ一般質問でも取り上げられた交差点ではありますが、結局、問題解決には至っていないという状況です。

矢印信号の設置を要望する声もありましたが、なかなか警察は首を縦に振らないようです。

また、三差路交差点に矢印信号というのは通常あり得ないというお話もお聞きしました。

であれば、この交差点の構造を見直し、渋滞緩和、安全な通行につながるような改善が必要ではないかと思うところです。

では、どこをどう変えればこの川上交差点が抱える問題を解決できるのか、ちょっと私なりに考えてみました。

あくまでも、例えばということで御紹介させていただきます。

モニターに、例えば、1、出しておりますけど、川上交差点に見立てたイラストですね、これ。

ここに、川上交差点に集まる車両を減らすために、武雄市街地方面から来て国道498号に合流しようとする車をもう手前で逃がす。

逆に、北方方面から走ってきて武雄市街地方面に行くやつも交差点に入れる前にはけらせると。

こういうようなことをすれば交差点に集まる車両が減り、結局、渋滞が若干緩和できるのではないかというふうに思います。

止まれと書いている、一時停止部分が危ないのではというふうに思われるかもしれませんが、都会辺りでもよく見かける形だというふうに思います。

次、例えば、2ですね。

これも北部バイパスみたいに、もう直進を高架にして、右折、左折をする車は高架の下を通れるようにすれば、信号の必要性もなくなるかも分かりませんし、渋滞の緩和にはすごくつながるんじゃないかというふうに思います。

これ次の、例えば、3ですね。

この、先ほど言いましたけれども国道498号を直進する車両と、若木方面と武雄市街地方面の331県道、こっちの往来が一番多いということを言いましたけれども、それならば、武雄市街地方面から、もうこの交差点に入れないで若木方面とつなぐ県道、もしくは市道、こう

というのが、立派なやつがあれば、ここの交差点に集まる車両も減るのではないかと思います。
次のモニター、赤の線で示しております。

これは市道黒尾繁昌線。

これをやはり川上交差点の渋滞を避けるために、ここを朝夕、結構通っておられるんですよね。

もうこの市道黒尾繁昌線、御存じのとおり道幅も狭く、中央線もございません。

見通しが悪い箇所もございます。

そして、黒尾地区、繁昌地区の児童生徒は、国道 498 号は交通量が多いからということで市道黒尾繁昌線を通学路として使われております。

この周辺の方、黒尾地区、繁昌地区の方ですね、広くもない道路なのにスピードを出して通過する車が多い。

抜け道として利用するのはやめていただきたいという声をよく伺います。

このような状況の解消にもつながるのではないかというふうに思います。

そして欲を言えば、繁昌方面と書いておりますが、この合流地点を戸坂峠を越えた若木で合流させれば、先ほどの戸坂峠の問題も解消できるんじゃないかというふうにも考えます。

川上交差点の渋滞緩和と事故防止につながるのではないかという観点から 3 つのパターンを御紹介しました。

国道 498 号の道路管理者は杵藤土木事務所でございますが、このような考え方、市の見解お尋ねします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／ただいま議員のほうから様々な解決案を御提示いただきました。

確かにこの方法を取れば、相当な混雑緩和、そして解消としては有効な策だというふうに考えております。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／こういうことができればですね、渋滞緩和、そして安全な通行にもつながるとは思いますけれども、夢のような話に聞こえるかも分かりません。

周辺の方のみならず川上交差点を頻繁に通行されている方々からは、何とかならんとやこの交差点はという声をよく伺います。

これが、もう数年後に国道 498 号バイパスが完成し、安全でスムーズな車の流れになるというのであればここまでの話はいたしませんけれども、国道 498 号バイパスがいつ整備される

か分からない状況であれば、最初に取り上げた戸坂峠の問題同様、この川上交差点の安全確保、渋滞緩和につながるような交差点の変更も視野に、打開策を道路管理者である杵藤土木事務所に要望をしていただきたいと思いますし、黒尾繁昌線の状況のことも申しました。このようなこともございますので、市のほうでも何らかの対応、対策、考えていただきたいと思いますがいかがでしょう。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／川上交差点につきましても国道 498 号の区間となりますので、若木バイパスから国道 34 号、この交差点の間につきまして早期に事業化に向けて要望してまいりたいと存じます。

それから、議員から御紹介ありました黒尾繁昌線につきましても、道路改良の計画はございませんが、安全対策につきましては関係課と連携を取って講じてまいりたいと思います。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／道路管理者のほうにも、こういう状況を打開する方法を考えていただきたいということで打診していただきたいと思いますし、黒尾繁昌線の問題もございますので、市としてできるところ、安全対策やっていただきたいというふうに思います。

市の職員さんの中でも、この川上交差点をよく通られる方は朝夕の状況というのは本当に分かっておられるんじゃないかというふうに思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。

次に、2 つ目の項目、市道閻魔王線についてということで質問してまいります。

この質問は令和 4 年 12 月定例会一般質問でも取り上げられましたが、今回、再度質問をさせていただきます。

現在、この市道閻魔王線は、宅地開発が急加速している地域を通る道路であるため、その地域にはとても重要な道路となっております。

朝夕は児童生徒の通学路としてたくさんの子供たちが利用をいたしております。

しかし、道路幅が狭い箇所があったり、見通しが悪い場所も存在する道路であります。

まずお尋ねしたいのは、モニターに出しております道路拡幅工事の進捗状況です。

工事が完了している黄色線部分、拡幅工事が完了している部分ですね。

それと、まだ拡幅工事がなされていない赤の線の部分。

こういう形に今なっております。

そして、今年に入ってから左上の写真につけておりますが、あのような看板が取り付けられ、

2月の末頃から業者の方が工事に着手されたようです。

やっと工事が始まるのかと感じております。

令和4年12月の一般質問で、この拡幅工事はいつ完成するのかという質問をいたしました。そのときの答弁では、令和3年の水害復旧工事もあり遅れたが、令和6年度完了を目指して進めるということでした。

令和6年度ってもう終わろうとしております。

もう来月から令和7年度です。

改めてお尋ねしますが、モニターの赤色線で示している部分ですね。

この拡幅工事、今後どのようなスケジュールで進み、いつ完了するのかお尋ねいたします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／議員御指摘のとおり、今年度完成を目指して進めてまいりましたが、発注の事務手続などに時間を要しまして、申し上げたとおり先月2月に着工しております。今年度、来年度、令和7年12月末に完成する見込みでございます。

議長／6番 吉原議員

吉原議員／諸事情があって遅れたということですかね。

12月、本当にこの市道閻魔王線拡幅工事は、もう当初の計画から非常に遅れていると思います。

通学路の安全確保のためにも、なるべく早い完成をしていただきたいなというふうに思うところです。

そして、この場所でもう一つ気になることがございます。

次のモニターに水色の矢印をつけております。

道路冠水と表示しておりますけれども、この水色の部分ですね。

これは激しい雨が降った際、この水色の部分、道路が冠水するようになったんですね。

ここ、このルートの中でもちょっと道路が低くなっております。

モニターに冠水する箇所の写真を出しております。

住宅側に側溝、これですね。

側溝が映っていると思いますけれども、ここに集まってきた雨水がはけ切れずあふれて、そして道路のほうに流れ出しているようです。

そして、今回の拡幅工事で歩道を整備されております。

歩道ですね。

この歩道を整備されるときに境界ブロックをつけられております。

そのあふれた水がこの境界ブロックでせき止めれて、結局ここにたまっているというような状況になっているようです。

このような状況が起きているということは市でしっかり把握されているのか、お尋ねします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／議員が御指摘いただいたとおり、市のほうでも昨年２回、冠水したことを把握しております。

特に２回目の冠水が令和６年６月２２日に発生した際には、短時間でございましたが通行制限も実施しております。

議長／６番 吉原議員

吉原議員／把握はしているということですね。

今までこの場所が冠水するっていうことは、ちょっとあまり聞いたことなかったわけです。側溝に集まってくる水の量が多くなったのか、境界ブロックを設置したからなのか、原因はこれは分かりませんが、今回、再開した拡幅工事をする中でこれは道路冠水を起こさないような対策も併せてやっていただきたいというふうに思いますがいかがでしょうか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／現在、冠水箇所周辺の水路の状況など含めて原因を調査中でございます。

冠水の原因が分かり次第、必要な措置を講じたいと考えております。

議長／６番 吉原議員

吉原議員／ちゃんとした原因ですね。

これが分からないと何をやっていいのかというのはあると思いますので、早急にその原因を探っていただいて、今回の拡幅工事の中で冠水しないような対策というのもしっかりやっていただければというふうに思います。

次は、佐賀女子高等学校武雄校舎跡地部分を通る市道閻魔王線について質問になります。

モニターの航空写真、平成２４年度をもって閉校した佐賀女子高等学校武雄校舎があった場所

を示しております。

現在は赤色点線部分の校舎跡地側も、黄色の点線部分のグラウンド跡地側も住宅がびっしり建ち並び、昔の面影もない住宅地となっております。

その中央にできたオレンジで示しておる交差点ですね、十字路交差点。

ここが見通しが悪く、非常に危ないと。

たびたびちょっとした接触事故が起きているという周辺の方の声を、令和4年12月議会の一般質問で取り上げました。

そのとき使用したモニターですけれども、モニターに出しているような注意喚起や安全対策ができないかという質問に対し、武雄警察署に相談し、この交差点に効果的な対応を考えるという答弁をいただきました。

どのような対策をしていただけるのかということで期待をしていたわけですが、変わったのは、モニターに出しております右上の写真、これが令和4年12月議会の一般質問で使用した写真ですね。

閻魔王線を朝日小学校側から見た写真ですね。

同じところから、現在、右下の写真は現在ですね、同じ場所から見ております。

朝日小学校側から武雄のほうを向いております。

左上写真は、逆に武雄方面から朝日小学校方面を見た閻魔王線ですね。

その現在の写真が下ということになります。

どこが変わっているか。

破線です。

また出ました破線です。

先ほどの戸坂峠の話と一緒にです。

破線だけつけられております。

この破線をつけることで、閻魔王線を走る方には若干の注意喚起につながると思います。

しかし、住宅地側から見たら、この交差点の先と手前についているということは、住宅地側から見て何も変わっとらんとですよ。

もう、以前と全く変わっていない、見え方がですね。

優先道路である閻魔王線を走る車には、住宅地から出てくるか分からんよ、飛び出すか分からんよというような感覚を持たせるような対策。

逆に、住宅地側から、ここに閻魔王線があつて車の通りようよということが分かるような対策を行うべきではないかというふうに思います。

これ、次のモニター。

これ、佐賀女子高跡地側から、これは、左側の写真は校舎側からグラウンド側を見た場合、こういうふうに見えます。

途中に閻魔王線があります。

これはグラウンド跡地側から校舎跡地側を見た写真。

途中に閻魔王線が入っている。

ぱっとこの風景を見たら、道路の先に目線は行くので、途中にある閻魔王線見逃すんですよね。

見てのとおり見通しが悪い。

出たところ、車が走ってきた。

そのような交差点なわけです。

だから、この住宅地側から見える部分にも、ここに閻魔王線がありますよという存在感をやっぱり示さないと、飛び出し、ここはもう本当子供も多いです。

たくさんの子供たちが遊んでおります。

閻魔王線に何らかの目印といいますか、安全確保ができるようなことをすればいいんじゃないかというふうに思います。

これ例えば、さっきから例えばが多いですけども、例えば閻魔王線にカラー舗装とか路面塗装ですね。

こういうことをすることで住宅地側から出ようとする歩行者、自転車、車両、ああここに閻魔王線があると。

これ優先道路ですもんね。

優先道路があるから絶対止まらないかと、車が来るか分からないというようにすれば、意識は変わるんじゃないかというふうに思うわけです。

周辺の方は、区長さんに対しても、ここ危ないと。

危ない交差点ですよということを度々伝えられているようです。

区としても交通事故を警戒し、独自の取組もなされております。

次のモニターの写真のように、飛び出し注意と、この看板を区で購入して設置をされているようです。

先ほど、交差点部分にカラー舗装もしくは路面塗装のことを申しましたが、市としてもこの交差点に大きな効果が得られるような安全対策をするべきではないかと思います。

いかがでしょうか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／議員から様々な御提案いただきましたとおり、市道から見える交差点、それから、宅地側から見える交差点におきましてはカラー舗装をしたいと思います。

また、車道部におきましては立体的に見える路面標示など、速度抑制について検討してまい

りたいと。

議長／6 番 吉原議員

吉原議員／ぜひ、もう安全対策ですね。

大きな交通事故が起きてからでは、もう本当に遅いと思います。

ここは本当に子供たちがたくさんこの住宅地おりますので、なるべく早く安全対策を取っていただきたいというふうに思います。

そして、佐賀女子高跡地のことを今、申しましたけれども、これよりすぐ西側にも、ここ西側にもちょっと危ないんじゃないかここ、危ないなという場所がございます。

これ、モニターの航空写真ですけれども、赤い点線で囲っている部分ですね。

この場所は道路幅が狭いです。

そして見通しが悪いカーブがございます。

***という場面に度々遭遇をする場所です。

モニターに出している、その写真ですね。

先が見えません。

対向車がずっと見えてきます。

頭が見えます。

こっちも見えません。

非常に見通しが悪い、狭い道路というふうになっております。

1 年ほど前になりますかね、地元の甘久区の区長さんとお話をする中で、この部分の道路、ちょっともう少し道路幅を広げて見通しのようなるぎ、安全になるとやけどねという話をしました。

区長さんも、そうですもんねと、ここちょっと見通しの悪かですもんねということをおっしゃっていました。

そして、区長さん、この閻魔王線沿いの地権者さんと話をしてみますと。

いい返事がいただければ市のほうにもちょっと相談してみますねというふうに言われました。

この閻魔王線の道路幅が狭い上に見通しが悪いカーブがある。

このことについて、地元区長さんから何らかの御相談、もしくは協議などなされたのかお尋ねをいたします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／今年度、地元の区長さんのほうからも御要望いただきまして、地権者

とも協議を行い、地権者の方から道路改良計画について同意を得ることができました。
来年度、令和7年度より用地測量や用地補償などを行ってまいりたいと考えております。

議長／6番 吉原議員

吉原議員／地権者さんとも協議なされて、話は進んでいるということですね。
ぜひ、もうここ拡張工事の事業化を早急に行っていただきたいなと思います。
本当にここはちょっと見通しが悪くて、いつも冷や冷やするところでございます。
ぜひよろしくお願いしたいと思います。
以上をもちまして、令和7年3月定例会6番吉原新司の一般質問を終わります。

議長／以上で、6番 吉原議員の質問を終了させていただきます。
ここで、モニター準備のため、5分程度休憩いたします。

＊ 休憩中 ＊

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。
一般質問を続けます。
次に、16番 松尾議員の質問を許可いたします。
御登壇を求めます。
16番 松尾議員

松尾議員／皆さん、おはようございます。
議長より登壇の許可をいただきましたので、16番松尾初秋の一般質問をさせていただきます。
執行部の答弁は簡潔で正確にお願い申し上げます。
移住・定住についてであります。
実際どれくらいの方が移住してきているのか、答弁があっていましたが、改めて詳しくお答えをいただきたいと思います。

議長／松尾企画部長

松尾企画部長／おはようございます。
モニターをお願いします。
移住に係る補助金を利用した方の人数を年度順でお答えいたします。

令和2年124人、令和3年127人、令和4年度88人、令和5年63人、令和6年度は2月末までで41人、合計で443人となっております。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／ちょっと今のところば、ちょっと出しとってくれんね、ちょろっと。

これ、ここ見よったらちょっと少のうなっとうですもんね、ずっとね。

ちょっと補助金の関係があったかは分かりませんが、そういう状況なんだけども、移住・定住を進めるためにどのような、まず取組をしようかとですか。

議長／松尾企画部長

松尾企画部長／移住定住支援サイトを昨年11月にリニューアルいたしました。

移住検討者が情報を得やすい環境を整備いたしております。

また、子育て世代を対象としたPR動画や、地域おこし協力隊によるインターネットを活用したPR、武雄市の住環境や補助金に関するチラシを作成、ほかに福岡市営地下鉄や長崎の路面電車を活用した広告、パンフレットの配布などにより幅広く広報を展開しております。

また、移住者向けの補助金といたしましては、定住特区補助金、空き家リノベーション補助金、地方創生移住支援事業補助金、さが暮らしスタート支援事業補助金のほか、定住につなげるため通勤通学定期券購入補助を設け支援しております。

さらには移住相談会やオンラインセミナーを開催するなど、本市への移住をよりリアルにイメージできるように移住検討者とのつながる機会を設けております。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／私の考えを今から言うばってんですよ。

いろいろしようとか分かりませんが、私はですよ、市長さんがトップセールスでしとっとが一番よかったなと思います。

それは何でかといいますと、市長さん、もともとほらよそから来とんさですもんね。

だからですよ、そういう意味においてはやっぱり説得力のああとと思うとですよ。

それはもうこの武雄市長じゃなかなんぎでんことですよ。

よそはほら、もともと地の者が市長とかなっとなったりしとったらでんばってんですよ。

やっぱり市長の場合は、ほら、よそから来とんさけ、そこはやっぱり生かしていったほうが一番よかと思うんですよ、市長さんは最初から職員で来てから、それでほら、もう市長まで

なっとなさわけですよ、今。

ということは、武雄市民がですよ、優しい、度量が広いというところも一緒に、あわせて分かってくっと思うわけですよ。

そういう意味で、私は今回、ちょっとスライドを見せますけれども。

私も移住者です、武雄市長の小松ですって、こがんとがやっぱり首を下げてですよ、こがんしてすっぎどがんかなと思って首に下げたとなるんですよ。

私は移住者ですって、武雄市長の小松ですって、こいでやっぱり宣伝してもろたがいいですよ、より一層、やっぱり移住者が来っと思うとですよ。

説得力があるんですよ、よそから来っとなさけん。

これについて、市長さんどがん思うさですか。

議長／小松市長

小松市長／おはようございます。

素晴らしいアイデアありがとうございます。

やるかどうかはともかくとして、私は武雄に来て16年目に入るんですけども、やっぱり移住してきた人がそのまちの魅力とかをリアルに語るというのが、やっぱり説得力があると思います。

なので、先ほども部長からありましたように、情報発信においては移住者の声なんかもこれまで発信をしてきました。

今、移住体験ツアーとか、移住ツアーをやっているんですけども、それは毎年開催してまして、必ず私が出迎えをしてそこで私自身の移住してからの体験談を話しています。

子育てのこと、教育のこと、あと、日々の暮らしのこととかですね。

まちの魅力とか、やっぱりよく聞いてくれます。

先日も図書館で鹿児島の方が、移住相談会をやったときに鹿児島から御家族が来られまして話をしていたんですけども、確かに向こうもびっくりされていました。

直接会っていろいろ話すというのが印象にも残ると思います。

したがいまして、今、市長という職をさせていただいておりますし、私自身も移住を経験しているということの強みを生かして、これまで以上にいろんなところでPRに努めていきたいと考えています。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／幾らかはされているような答弁をいただきましたけども、やっぱりこいが一番大

事かことかなと。

一番効果があつちやなかろうかなというふうな思いがありました。

今後もずっとやっていただきたいと思います、今以上にと思います。

次にですよ、特定都市河川の弊害についてでありますけども、自分の考えば言うばってんですよ、今、市は移住定住の推進ばする一方ですよ、その特定都市河川になって、それを受けたことで大型の住宅開発がしにくくなったという話を聞くとですよね。

武雄に来てくださいっちゅうて言いよってですよ、住む家がなかですもんねじゃあ駄目なんですよ。

そこでこれお尋ねしていきたいんですけども、特定都市河川の指定を受けたことで1,000平米以上の開発の場合は遊水地ばつくとか、浸透する舗装をすとか何かいろいろあるらしいですけども、そいほどがなくなつとうですかね。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／特定都市河川の指定は、著しい浸水被害が発生する流域の水害被害を防止するとともに、河川対策、流域対策をさらに進めるものとして、令和5年3月28日に六角川の川島橋から上流において九州地区で初の指定を受けております。

議員御質問のとおり、1,000平米以上の開発を行う際、土地の形状を変更する場合は河川への流入を抑制するための対策が必要となります。

河川への流入を抑制する対策として、技術基準に従った雨水貯留施設の設置が条件となります。

雨水貯留施設といたしましては、御紹介いただきました調整池、宅地部の雨水浸透管や雨水浸透ます、それから透水性舗装などが主な施設になります。

設置に関する許認可は佐賀県の河川砂防課が窓口となりますので、開発される前に事前に相談をいただければと存じます。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／今、規制の話をされたんですけれども、私は、今、農業委員会の委員をやっておりますね。

今ちょうど、7月くらいって今、何か月かな。

9か月ぐらいなるとばってんですよ。

やっぱり1,000平米以上の住宅開発はあつてないんですよ。

そういうのがあつていない。

確認の意味で質問をしていくんですけどね。

そういう一方で、やっぱり農地を守る立場もありますけども、いずれにしても1,000平米以上の農地転用の住宅開発はあっていないと思いますけども、確認ですけどもこの点どがんでしょうか。

議長／木村農業委員会事務局長

木村農業委員会事務局長／おはようございます。

議員御指摘のとおりで、1,000平米以上の農地を宅地分譲や建売分譲住宅等に転用する宅地開発は、令和5年度に申請が1件ありましたが、その後取り下げられております。

令和6年度の申請はございません。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／今、答弁いただいたら、やっぱりなかということですよ。

1件、令和5年にあったばってん、その後取り下げられているという状況を今答弁いただきました。

補助金の、これ何かこれをずっとみたいで、市は補助金のこれ何かこれをずっとみたいで市は補助金の話かですもんね、補助金の御案内ということで、雨水時に一度に多量の水が河川や水路に流出することを防ぐため家庭や事務所などで行われる雨水をためる浸透対策への補助を行っていますということで、治水対策課から資料を頂きましたけども、この説明を詳しく求めます。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／先ほどの御質問で、雨水貯留施設の主なものを御答弁させてもらいましたが、御紹介させていただきました主な雨水貯留施設につきましては補助制度を設けております。

モニターをお願いします。

具体的には、モニターにお示ししていますよう対象者は整備する土地、建物の所有者または使用者、対象地域は武雄市内全域でございます。

補助率は整備費の3分の2でございます。

対象雨水貯留施設として、1つ目は敷地内に貯留容量50立方メートル以上をためる雨水貯留広場、調整池ともいいますが、1件あたり限度額100万円でございます。

2つ目に、屋根などに降った雨を地下に浸透させるための雨水浸透管の設置で、内径 100 ミリメートル以上の管で 1 メートルあたり 7,000 円で、1 施設総額 20 万円まででございます。
3つ目に、屋根などに降った雨を地下に浸透させるための雨水透水ますの設置で、内径 300 ミリ以上のますで 1 基当たり 2 万円、1 施設総額で 20 万円まででございます。
最後に、4つ目に、舗装面上に降った雨を地下に浸透させる透水性舗装などで 1 平方メートルあたり 500 円、1 施設総額 25 万円まででございます。
以上でございます。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／今、補助の説明をいただきましたけどもね、やっぱり補助が頑張っても借り先があってないということはですよ、補助の少のうやなかろうかねと思うわけ。
少なかけんこそで、補助金ばですよ、だから補助金ば上げてやっぱり住宅開発をもう少し進めるといふ方向もあるですよ。
という中で、民間がこういうのができないのであれば、市で住宅開発を何とか考えていただきたいと思いますけども、この点についてはどがんでしょうか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／六角川流域が特定都市河川に指定を受けてまだ時間がたっており、現時点では補助制度の見直しは考えておりません。
まずは、現在の補助制度について事業者への周知を深めてまいりたいと考えております。
また、市単独での宅地開発につきましても現移転では考えておりません。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／周知ば図ってきてもらって、もうこいも 2 年たつとうですよ、2 年。
それで、これが民間の人とか、普通の人やったらまだよかですよ。
相手さんは住宅開発業者とか、そがん業者ですよ。
ちゃんと周知もしとんさはずですよ。
分かあでしょ。
今から周知していきますよ、もう 2 年たつとうですよ。
だから本当に、個人やったらよかばってん、相手は業者だからね。
やっぱりそこんたいはね、ああいうことば考えていかんいかんと思うですよ。

これは指摘だけしときますよ。

もうこの件は、もうこの辺ぐらいで終わってですよ、次に、旧庁舎跡地について質問をしていきたいと思いますけども。

早やかね、いつもね。

今は跡地は市の職員駐車場で使っていると思いますよね。

写真をちょっと見せましょうかね。

こいですたいね。

ここのところですよ。

確認の意味で聞きますけども、今どのような使い方をしていますか。

議長／秋月総務部長

秋月総務部長／おはようございます。

平日は午前7時から午後6時までは市職員の有料駐車場及び来庁者の臨時駐車場として使用しております。

それ以外の土曜日、日曜日、祝日及び平日の午後6時から翌日午前7時までは無料で開放している状況です。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／これ以前ですよ、何か旧庁舎跡地等利用促進に関するサウンディング型市場調査結果概要つちゅうことで、ここにそれがありますね。

令和5年10月武雄市ということで、こん中で立体駐車場ということで、民設民営の可能性は低い、困難であるということでありました。

それで、この前の令和5年12月議会の総務常任委員会の議事録を手に入れまして、その中の16ページのそんときの資産活用***課長の答弁の中に立体駐車場の民設民営は困難という意見などもあり、今言うたことです。

このエリアにどういった駐車場を確保することがいいのかを立体駐車場も含め考慮して、計画素案を策定する必要が出てきまして、時間を要するため今年度中での議会報告が困難となっておりますということで、令和5年12月の委員会でこういうふうな報告があつとるわけですよ。

そこで、もう立体駐車場等はもうやめたとですかね、どがんなつとうとですか。

議長／秋月総務部長

秋月総務部長／先ほど議員から御紹介いただいたように、まず立体駐車場についてですが、公設による建設については検討いたしましたけれども、該当するような補助金がなく難しい状況というのは分かっております。

また、先ほど言われたように、令和5年10月の公表されたサウンディング型市場調査の結果で、民設民営による立体駐車場建設については、新たな課題等が出て民設民営による立体駐車場の建設は困難であるという意見もいただいているところです。

こういうふうな状況から、現段階においては具体的な立体駐車場の構想についてはない状況でございます。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／今度は、自分の考えば言うばってんですよ。

やっぱり市の中心部にあんな広い土地ですよ、これこんままこうして見せることがですよ、やっぱりまだまだ武雄はまだ伸び代があるんですよっちゅうことはですよ、私はそういうふうに発展するような、まだまだ伸び代があって、発展するようになるわけですよ、こういうのを残すことによってですよ。

そのことでやっぱり事業家とか、投資家とかを引きつけると思いますよね。

これもう埋まってしもうて、何でも埋まってしもうぎもう私は駄目だと思うわけですね。

ぽーんてして、こうしとくところがですよ、こういうふうな空間がやっぱり宣伝効果になるんじゃないかなというふうに私は思うとですよ。

だからですよ、こういうふうにつくっておりますけども、武雄市はまだまだ伸び代がありますよという、こいが宣伝になると思うわけですよ。

こういうふうにそのまましておくことが。

というふうに、私は私なりに思いますよね。

これが、引きつける、やっぱり投資家とか事業家とかを引きつける要素になるんじゃないかなというふうに、私はこういうふうに見ますけども、この件についてはどがんでしょうかね。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／市といたしましては、旧庁舎跡地を駅周辺、温泉通りエリア、御船山エリア、新文化交流施設エリア、保養村及び大学建設予定地の結節点として、まちのにぎわい創出において重要な場所であると認識を持っております。

先ほどいただきました、令和5年10月に実施いたしましたサウンディング型市場調査では、

旧庁舎跡地が国道沿いではなく接道などが悪いなどことから想定より評価が低かった結果も出ております。

現在、新文化交流施設エリアの整備地であり、大学の建設中でもあるため、今後、新文化交流施設エリアの整備が終了し、大学が開学することでまちの流れは変わると予想されます。以上のことを見極めましてから、今後の方向性を見いだしたいと考えております。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／流れが変わるという答弁でしたけどもね。

私はやっぱりこういうふうな土地をそのままにしておくことが、やっぱり引きつける要素になる、宣伝効果になるというふうに思います。

武雄市はまだまだ伸び代がありますよというのを広く宣伝する効果が、私はあると思いますので、これは私の考えを一応言うて、こういう考えもあるということを伝えておきたいと思ったので、今回質問を出しました。

次に、市民体育館の機能強化についてでありますけれども、これですね。

市民体育館、ケーブルワン・スポーツパークですかね。

これ二十歳のつどい、私行ってないんですけどあつたらしいんですけども、これちょっと確認で聞きますけども、これ体育館なんですけども、そもそもその体育以外、体育とかスポーツ以外の利用ができるように大体なっているのか、確認の意味で聞きたいと思います。

議長／山北企画部理事

山北企画部理事／おはようございます。

市民体育館はスポーツをする人もしない人も気軽に立ち寄れる、楽しめる空間としておりますので、スポーツ以外でもいろんな行事で御利用いただけます。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／いろんな行事で使われているという話ですけども、今までどがんところがいろんな行事とかしましたか。

議長／山北企画部理事

山北企画部理事／物産まつりや二十歳のつどいなどのイベント、文化関係では伝統芸能まつ

りのほか、国スポの公開競技等のセレモニーとして文化団体やこども園による和太鼓や合唱、吹奏楽等を披露していただきました。

そのほか、講演会、集団検診、就職説明会などに利用されております。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／もちろん私も、1 回言いましたね、成人式の二十歳のつどい行っていません。行っていませんけれども、行った人に聞いたら、えらいこれは音響が悪かったという話を聞いたとです。

私は行ってないからよく分かりませんが、この点についてはどがんでしょうか。

議長／山北企画部理事

山北企画部理事／聞こえづらかったと聞いております。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／今回、自分の考えを言うとはってんですよ。

聞き取りづらかったですね。

私は、今後文化会館の大ホールが解体も考える中でですよ、やっぱり大ホールを補う意味でも補完する意味でも、ここに音響ば用意していただきたいと思うわけですよ。

コンサートなどをできるようにしていただきたいというふうに思うとですよ。

スライド、ちょっと写真見せますけどね。

この体育館ですよ、この壁んにきにですよ、この壁んにきにずっと貼ってですよ、ここんたいにこのなんじゃいですよ、ちょっと資料をもらたばってんですよ、何かキャスター付きの移動式の木製音響反射板とか、こがんとところ***日本中の学校体育館、公民館等のホールに豊かな響きとクリアな音ということで、資料がありまして、コンパクトで国内最軽量アンド最低価格を実現と書いてあってですよ、移動後パネルを上げるだけで即使用可能、木製による自然で豊かな響きと明瞭な音を両立いうことで、そがんとば置いとったりつけたりして、やっぱり音響は用意すつことがやっぱり大事になってくるんじゃないかなと思いますけども、機能強化という意味ですよ。

質問として、音響がよくなるような機能強化についてはどがんでしょうか。

議長／山北企画部理事

山北企画部理事／現在の市民体育館の音響設備につきましては、スポーツイベントを想定した機器を設置しております。

議員御提案の音響反射板等の設置等につきましては、現在、文化会館大ホールの更新の見直しが行われていることから、その方向性を踏まえた上で関係部署とも協議し、配備について検討いたします。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／踏まえて考えていただきたいと思いますよね。

そがんなれば、結構いろいろな面でこの体育館が今以上に使われるようになると思いますので、その辺はよろしくお願いします。

次に、ライドシェアの実証実験の結果についてでありますけども、こいがですよ、もう何人での議員さんの質問したときは、もうあんまり聞くとこなかですもんね。

ただ、ちょっと資料をまず読みますとね、これまた同じ話なんだけども、運行日数が 20 日間ね、ドライバーが 3 名ですよ。

そいで、利用状況を見ますとね、0 回が 6 日ですよ、0 回が。

1 日 1 回だけが 11 日間、2 回あったのが 3 日間ですよ。

売上が 3 万 2,170 円ですよ。

質問になるんだけども、こいですよ、恐らくね、金ばね 1,900 万ぐらい使うとなんですよ、この実験のために。

そのうち、たしかね、400 万ぐらいが市の持出しの金じゃなかったかなと思うけど、その辺についてどがんでしょうか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／今回の実証運行にかかった費用につきましては、議員から言われましたとおり 1,947 万円でございます。

なお、この事業は国の補助事業を活用しておりまして、国から 1,464 万円、市の負担といたしまして 483 万円でございます。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／こい 1,947 万円使うてこの実験ばしたとですよ。

見てくださいよ。

3万2,170円ば稼ぐためにですよ、馬鹿と一緒になかですか、馬鹿と。

はっきり言うてですよ。

これ、あんた、アメリカのイーロン・マスク氏のごたとのおったら、たたっ切られるですよ、チェーンソーで。

そうだったでしょ、政府公立省やったですかね。

そがんもの***ですよ。

そがん話ですよ。

1,947万円、市税が483万円、この結果ですよ。

でね、もう私はね、自分の考えを今から言うばってんですよ。

この利用者が少なかったのはね、前も言うたでしょうが。

現金の対応ができないことですよ。

支払い、現金でよかですかって。

いや、うちはスマホかクレジットカードですもんって、じゃあいいってなあとですよ。

もう、ほんでばってんですよ、もうライドシェア、もういいですってなっとうと一緒になかですか。

そういうふうに思いますよ。

私はね、そういうふうに現金対応ができなかったのがね、大きな原因だと思いますけども、利用者が少なかった原因はどういうふうに捉えていますか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／今回のライドシェアの支払い方法につきましては、国の指針に準じてキャッシュレス、クレジットカード及びPay Payにて実施し、夜間の運行のため何よりも利用者やドライバーの安心・安全及び防犯上の観点を最重要視したため、現金不可としておりました。

武雄市においては、やはりタクシーや運転代行の利用が浸透しており、これらが優先的に利用されたことから利用が少なかったのではないかと分析しておりますので、現金が使えなかったことがその直接的な原因だとは考えておりません。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／それはいろいろ見解がああか分かりませんけどね。

不特定多数の相手ばすっとやけんですよ、やっぱりタクシーと同等、タクシーは現金ですよ。

その上でよ、スマホとかよ、そのクレジットカードもああでしょう。

全くなかですか。

私は現金対応ができなかったことがね、絶対駄目だと思う。

前回の議会でも言うんですよ、これは失敗すつですよって。

これも結果、私に言わすぎ、失敗ですよ。

考えてみてくださいよ。

1,947万円使うんですよ、幾らですか、売上げは。

3万幾らの売上げ、もう一見直してまた***3万2,170円。

市税の金ば483万円も使うんですよ。

本当にね、これ今日、テレビ見よんさ市民の人は頭きんさんと思うですよ、はっきり言うて。

もう全く、私はなっとらんとします。

もうこれ以上言うても、だんだん腹ゆうなってますね、もう言うとはもうこんくらいでもうやめます。

もう言うても大体なかったですもんね、この件はですよ。

ほかの人がいっぱい言うとなさったけん。

次、何やったですかね、もう分からんくなったですね、興奮して。

次に、マイナンバーカードについてでありますけども、まずマイナンバーカードの保有率は何のくらいですか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／おはようございます。

令和7年2月末現在の武雄市のマイナンバーカード保有率ですが、81.8%です。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／約8割はつくっとんさってことですね。

2割はつくっとらんで。

実はですよ、私は実はつくっとらんですもんね、はっきり言うてですよ。

本当にですよ、つくっとらんとですよ。

なんでかっていったら、そもそも番号振られとんのにむかって来たんですね。

勝手に番号振りやがってという思いがあったんですよ。

おそらくですよ、議員の中で、このマイナンバーカードつくっとらん人は、私と江原議員さんぐらいじゃなかかなというふうに思いますけどね。

これはあんまり関係なか話なんですけどね、そういうふうに思います。

保険証とかにマイナンバーカードのひもづけ率をお尋ねしていきたいと思いますが、保有率は今のところの80%を100として考えた場合、国保、社保、あとは後期高齢者でどんぐらいですか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／武雄市国民健康保険のマイナンバーカードとのひもづけ率は、令和6年12月時点で71.4%です。

あと、こちらで分かるのは、佐賀県後期高齢者医療の武雄市分のひもづけ率になりますが、令和6年12月時点で67.2%です。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／顔認証でこうすつとですよ。

顔認証付きカードリーダーとは、オンラインの資格確認書を行う際に、必要となる機器のことで、マイナンバーカードの顔写真のデータをICチップに読み取り、その顔写真データと窓口で撮影した本人の顔写真と照合し、本人確認を行うことができるカードリーダーですということで、そういう機械がですよ、これ、いっちゃなかですもんね。

私も資料もろうたばってん、5個ぐらいあるとですよ、5個ぐらい。

それでですよ、このタッチの仕方もいっちゃいっちゃ違うとですよ。

高齢者の人が、複数の病院でいっちゃいっちゃ違うてね、もう困りよんさって話が私に入ってきたばってんですよ。

そがん話は入ってきとらんですか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／医療機関でのマイナ保険証を読み取る機器の操作については、健康課のほうでは直接お困りとの御意見を伺ったことはございません。

しかしながら、機械の操作の苦手な方が、やっぱりいらっしゃると思います。

そういった場合は、恐らく窓口でお聞きになりながら対応されているのではないかと考えております。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／直接は入ってきてないということで分かりましたけどもね。

今から自分の考えば言うばってんですよ、これ何か、ひもづけは3月中に運転免許証がひもづけになるらしかですね。

そういう話をちょっと聞いておりますけども。

もし、そのマイナンバーカードがのうなったりするぎですよ、全部パーになるとですよ、全部。

保険証でも、免許証でも、全部パーになるわけでしょ。

でね、私はですよ、こいば投資で考えた場合ですよ、例えば投資の場合はですよ、現金で持つときなさい、株で持つときなさい、債券で持つときなさい、土地で持つときなさいということで、やっぱり危険分散するですね、リスクヘッジというふうに思うですよ。

だから、私はひもづけすることが果たして正しかかなって。

確かにね、便利かとは便利ですよ、いっちょにまとめるき。

でも、そのリスクヘッジで考えれば、危険分散で考えれば、本当に正しかとかなって思いがあったけんですよ、ちょっと質問したんですけども、質問として、もしですよ、マイナンバーカードが紛失した場合は、再交付に要する日数なり、費用なりはどうなんですか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／通常、マイナンバーカードを紛失した場合ですが、市民課の窓口で紛失届を提出し、再交付の申請をしてからおおむね1か月で新しいカードが交付されます。

その際、手数料が1,000円必要となります。

ただし、急ぎでのお受け取りを希望される場合は、窓口で本人確認を行い、特急発行の申請手続をされますと、約1週間で新しいカードを受け取ることもできます。

この場合の手数料は2,000円となります。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／汽車と一緒にすたいね。

特急よりたかですもんね。

そいと一緒ですよ、分かりやすく言うきですね。

1,000円払うぎ、1か月かかるばってん、2,000円払うぎ、1週間でできるって話でしょ。

私は、保険証、今後はね、資格確認書になると思いますけども、こいばのうなかしたときは、お金がかからん上でね、その日にできっちゃなかなかと思ひますけども、その辺はどがんで

しょうか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／資格確認書の再発行につきましては、武雄市国保、後期高齢者医療ともに、市役所の健康課で原則、即日で発行できます。

再発行に際しても、今、議員がおっしゃられたように、手数料は不要です。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／これはお金がかかると***、運転免許証の場合ですよ、例えば、佐賀の試験場さ行くんですよ、あれはその日にできると思いますけども、その辺はどがんですか。

議長／馬場福祉部理事

馬場福祉部理事／運転免許証を紛失した場合についてですが、武雄警察署に確認したところ、佐賀市の運転免許センターへ直接行かれた場合は即日交付ができるということでした。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／だから、やっぱりそのひもづけが果たして、今の答弁を聞いてですよ、果たしていいのかね。

国策***よかですよ。

ただ、そういう面もあるということは市民の人は知って、すつときはしていただきたいと思うわけですよ。

私も、マイナンバーカードつくっていませんけども、今後、何か、今、今度万博あって、大阪で今度カジノができる。

カジノもマイナンバーカード持っていかなと入れんとあったけん、1 回行きたかけんですよ。

そのときはマイナンバーカードはつくるか分かりませんけどもね。

それでもやっぱり、ひもづけだけはすみゃあかなとか思うですよ。

今、ずっと答弁聞きよってですよ。

もうこれ以上このことは言いませんけども、次に、消防団員確保についてでありますけども、質問としてですよ、団員数は条例で定めた定数になっているのか、まずお尋ねしたいと思

ます。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／武雄市消防団員の人数は、令和6年4月2日現在で、条例定数は1,370名に對しまして、団員実数は1,273名でございます。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／ということは、100名ぐらい下回っとうちょうことですね。

条例定数に對してですよ。

ということは、今後ですよ、定数のように団員を増やしていくとか、それとも定数自体を減らすとか、これ、どっちですか。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／消防団の組織再編検討委員会で、活動実績の団員の整理に取り組み、条例定数を検討するため、現在は実数に合わせて定数を見直すこととなっております。

このため、定数を増やす考えはございません。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／ということは、定数自体は減らすということですかね。

答弁お願いします。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／実数に合わせて定数を減らしていく方針でございます。

議長／16番 松尾議員

松尾議員／私の質問は最初からどっちですかって聞きとうとやけんですよ、分かりやすう言うてくれんとですよ。

何かおかしこてぴんてこんとですよ、私も頭悪かけんですよ。

分かりました。

定員数を減らすのは分かりましたけども、いずれにしても、定数を減らすといえども、やっぱり団員の入替えがあると思うんですよね。

そげん、いくらやっと新しか団員さんも入れんばいかんとばってん、大体どんぐらば予想しよんさっとですか。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／令和２年度からの５年間でございますが、平均で約４０名でございます。

議長／１６番 松尾議員

松尾議員／ということは、４０名新しか団員さんも入れんさという話ですけどね、資料はこい、消防庁からの資料***。

人と街を守るチームの一員になろう。

消防団員募集中ってここにああですよ、ここに。

そいで、どんな活動をしているのかということで、日頃から地域を守るための活動をしています。

Ｑ＆Ａで書いてあるとですよ。

活動はボランティアなのか？って、違いますって、報酬がありますって書いてああですもんね。

そいで、団員のメリットはあるかって、色々ありますって書いてあるとですよ。

色々ありますって。

ということがあって、佐賀県もですよ、なんやですかね、こがんとか出しよんさ、消防団員になろうというので、こういうふうな言葉出しとんさですけども、消防団募集ですね。

そこで、どがん方法で今、団員ば募集しよんさっとですか。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／団員の募集の状況絵ございますけれども、全般的な募集方法は、ポスターを地区の公民館や格納庫に掲示し、佐賀県ではテレビのＣＭや新聞への掲載を行い、取り組んでいるところでございます。

地元消防団の具体的な募集としましては、各地域を団員が消防庁の消防団募集チラシ、先ほど見せていただいたチラシを活用し訪問するなど、声かけを中心に入団者を確保しているの

が現状でございます。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／今、方法ば聞きましたね。

ポスターば貼ったり、声ばかけたりですよ。

そがんとね、団員集まると、簡単にいくかなという思いがああとですよ。

これは私の話ばずっとですよ、私の考えですよ。

基本的にね、消防団になあもんって、火事好きの人しかならんとですよ。

赤いやつですよ。

火事好き。

そいぎ、近所で火事のあつてでも、見に行かんごたもいかんとですよ、分かりやすい言うぎ。

いや、私は今、ゲームしようですもんねって。

ゲームしようけん、そがんと関係なかしというごた人は駄目なんです。

だからですよ、やっぱりその近所で火事のあったら、ばって見に行くごたもんしか、そういうふうな人しかならんと思うわけですね、消防団員に。

分かりやすう言うぎですよ、火事場で野次馬の中からやっぱりスカウトせんばいかんとかって話なんですよ。

でも、こい、よくよく考えたらおかしか話ですもんね。

何がおかしかが分かるですか。

火事場でそがん募集さるうわけなかですもんね、消火活動せんばいかんわけですよ。

そいけん、そがんと募集ばできんとですよ、基本的には。

でもね、考え方としてよ、やっぱり興味のあるような人を見つけ出すことが大事かと思うわけですね。

私は一つは、火事場の話ばしたですよ、例え話ですよ。

だから、質問として、やっぱり興味のあるあごたもんば見つけ出して、消防団員として募集する件についてはどがんでしょうか。

議長／黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／議員提案の火災現場を見に来る人たちの中から団員を発掘するのは、有効な方法だと思います。

ただ、消防団の活動は、訓練や点検、火災や風水害など様々な災害への対応、現場での後方支援などその活動は多岐にわたっております。

一つの方法として参考にさせていただきたいと思います。

議長／暫時休憩します。

＊ 休憩中 ＊

議長／再開いたします。

黒尾総務部理事

黒尾総務部理事／先ほどの私の言葉で訂正をさせていただきたいと思います。

消防活動に興味のある方の勧誘はすべきだというふうに訂正させていただきたいと思います。

議長／16 番 松尾議員

松尾議員／火事場でスカウトできんですもんね。

でも、そういうふうな興味のある人がですよ、選りすぐって、やっぱり募集することが私は大事だと思うわけですよ。

本当にその一つの例として、やっぱり、近所で火事があったときに見にいかんごとも、とにかく無理やろうということで、こういう質問をしました。

以上で質問を終わります。

議長／ここで 16 番松尾初秋の質問を終了させていただきます。

議事進行をお願いします。

上田議員／すみません、先ほどの質問の中で、ライドシェアのところやったですかね。

すみません、議事録とかまだないのであれですけど、イーロン・マスク氏のおんさったりすうぎ、首切られるですよとか、チェーンソーで首切られるとかというような表現があったかと思うんですけど、そういうので、議長、止めんさあかなと、発言の訂正を言われるかなとか思ったんですけど、そういうのも一切なくて、さらに最後らへんも消防団員は全員火事好きって。

それも、私もまだ団員の一員ですけど、別に火事が好きなわけでも何でもありませんし、やっぱり、地域のためと思って、消防団員、皆さん頑張っていると思うんですけど、仮にも、議会の副議長さんでもあるので、こういうのを、議長さん何も止められたなかったんですけど、これに対してはどういうふうな対応をされるんですか。

議長／ただいまの9番 上田議員からの議事進行でございますけれども、確かに首切りとかという言葉は不適切な発言ではないというふうに思いますけれども、チェーンソーでとか、そういったところは少し、過度な部分もございますので、その辺については後刻、調整をさせていただきたいと思います。

それでは、ここで議事の都合上、5分程度休憩いたします。

＊ 休憩中 ＊

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問につきましてでございますけれども、大げさな発言、また、過激な言葉といったものについては十分注意をしていただきたいと思います。

今回、特に、完全な不適切な発言とまではいえませんが、ぜひ質問者は、責任を持って質問をしていただきますよう、お願いをしておきます。

それでは、一般質問を続けたいと思います。

次に、18番 牟田議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

18番 牟田議員

牟田議員／議長より、事前にこういうことはいろいろ大げさに言うなど、大げさな発言はするなという前提の下、許可をいただきましたので、私の一般質問を始めさせていただきます。この、先生にちょっと描いてもらった絵なんですけど、これはへび、今年はへび年ですね。今年の年頭の挨拶でいつも聞くのが、今年は脱皮の年ですと。

脱皮しなきゃいけない。

ということで脱皮しますと。

そういうあいさつを多々、多々聞きました。

多分、皆さん方も聞いているし、耳に入ったことでしょう。

ただ、ここで言いたいのは、へびの脱皮というのは、本当に命がけなんですね。

脱皮している最中に襲われるかもしれない。

脱皮の途中、死ぬ場合もある。

脱皮してからも著しく体力を使う。

やっぱり脱皮するにはそれなりの犠牲と体力が必要なんですね。

ただ、今年は脱皮します、脱皮の年です、へび年で脱皮しましょうと軽々に言うならば、その反対に、エネルギーを使う。

そして、いかにこの脱皮というのが大変か。

もとをずっと例えば、武雄市でたどっていくと、脱皮したのはどういうときだろうと。

武雄市の昭和 50 年代、赤字再建団体に陥るときに大なたを使って脱皮して乗り越えました。

石井前市長のときは、元市長のときは、保育所を全部廃止しました。

武雄市内の保育所、それは、生身を切るというのは少なかったのですけれども、その保育所の勤める方は公務員ですので、全部それを廃止されたという、一つの脱皮を図りました。

そして、その後、古庄市長のときは合併ですね。

合併という、大きなエネルギーを使いました。

前の樋渡市長のときは病院、本当にこれは大きな脱皮だったと思います。

それをエネルギーと、そして、いろんな力、そして犠牲、犠牲という言葉はおかしいですけども、そういうのを繰り返しながら脱皮していった。

だから、脱皮の年だと、軽々、なかなか言えないような感じがします。

ただ、今度は小松市長、ひょっとすると今度の大学問題が一つの大きな脱皮で、さらに発展するかもしれない。

ただし、これはいろんな心配事がついて回る。

そういう中で、さっきの松尾初秋議員さん、ここの壇上で、どんぐらい話さすかなって思ってた計っていたら、58 秒でもうおりられたんですよ、ここから。

私もそれ見て、今回、私いつもここ長くなるので、初秋さん、松尾議員さんが 58 秒ですから、今回はいつもよりも長く話したいと思います。

こうやって脱皮の話しました。

脱皮でそういういろんな話出てくる。

最後言いました、小松市長の大学の件を言いましたけれども、大学の説明で、これ、ここの壇上で何度も言っています。

大学の説明をするときに人口減少を一番、一丁目一番地に持ち上げてくるような形で説明していただいています。

もう本当に、人口減少を、大学の誘致の一丁目一番地のみたいな感じで聞くのが通常になってきてしまった。

本当にいつもしている、もう本当、それは共感いたします。

そういうのをやっていらっしゃるということで、今度、私が出すのも、その、人口減問題、そういう部分でやっていきます。

次の画像ですけれども、市長演告の中に、今回の市長の市長演告の中で、人口減や高齢化が進む中、地域で実施していただいている草刈り作業の負担を軽減し、持続可能な地域社会の実現を今度の当初予算、令和 7 年、さらに目指していくということと言われています。

これ、本当に非常にうれしい言葉で、演告にこういうふうな持続可能な地域社会の実現。

もう本当に我々、私自身、マスター計画でこういうのをどんどんやっていただきたいというのをしているので、演告に載せていただいたというのは本当にうれしい限りです。

明治 42 年に、30 年でしたか、山縣有朋っていますよね。

山縣有朋が、これも何度かここで言いました。

地方議会をつくるときに、中央から派遣する首長に権限を持たせるために議会というところを、権限を縮小しました。

議会は予算編成権はありません。

予算の編成の付与もありません。

そして、議会は執行部から出された議案に丸かバツをつけるか、賛成か反対か、そういうことをする、もしくはその中でもおかしいのは、附帯意見をつける。

その程度の、我々は、権限しかない。

もし否決しても、その後に再議というのが出てきます。

これは県議会が、県でも、十年か二十年ぶりにされた。

そういう中で、我々に唯一残されたのは、この一般質問。

一般質問を最大限に尊重する。

ここで何度も言いました。

そういう中で、私、こうやって周辺部のこと、そして、持続可能な地域社会のことを言ってきた中で、こうやって載せていただいているというのは本当、ありがたいことで、先輩議員から言われたのは、私の先輩ですから、もう大分、年配の方なんですけども、先輩議員から言われたのは、一般質問でやって、次の年の当初予算に乗せてくれるのが議員冥利に尽きるんだよと、そういうふうに言っていただきました。

今回、こういうふうに乗せていただいたので、これからいろいろ肉付けをやっていただけるものと思いますけれども、今回もマスタープラン、地域のことにについてやっていきたいと思っています。

次ですね。

これすみません、ちょっと画像が小さいんですけども、これまた、何というんですか、今回、これをトップの質問にしようとしたのは、大きな大きな***です。

出生数とか死亡過多のニュースが出ました。

これ見ると、この前の国の計画よりも、15 年前倒しで人口減、出生数の減が進んでいると。15 年前倒しで来ていると、本当かなって調べたんですね。

これ、毎日新聞。

ほかの新聞社載っていない。

ほかの新聞社、出たのは 20 年前倒しというのもやっていますし、平均というか、15 年、人口減前倒し。

15 年前倒しってどういうこと。

15 年前倒しってということは、前回、議会で私、これを使いました。

こういうことですね。

これが市が試算した各町の人口減のやつです。

2035 年には、2022 年の人口に対してこれだけ減りますよというのを出しました。

2035 年。

ところが、2050 年になるとこれだけ減りますというのが、本当皆さんびっくりした数字だと思います。

私のところにも、この一般質問をやって、何人も電話がかかってきました。

牟田君、どがんことねと。

これが 15 年前倒しってどういうことか分かりますか。

15 年前倒しってということは、画像の一番右の画像が 2035 年に来るってことですよ。

ということは、15 年後ですかね。

15 年後かな、そういう計算になるでしょう、15 年前倒しだから。

2035 年。

2050 年でこの数字。

その 10 年前倒しだから、15 年後ですよ。

すると、15 年後、2035 年には、橘町は、私からちょっと見えん、この画像持ってないので。

橘町は今、2,300 人が 15 年後には 1,130 人。

若木町は 1,473 人が 703 人。

700 人にほぼ半減ですね。

15 年後ですよ。

東川登町、1,900 人が 660 人。

本当、こんななるのかなと。

すみません、見て計算していただければ、それだけ減るということ。

本当、700 人も減るのかなと、15 年で。

700 割る 15 年ですと、年間四十何人。

四十何人を 12 か月で割ると、月 3 人から 4 人。

月 3 人から 4 人減っていれば、この数字になるんですね。

出生数少ないのですから。

どうですか、最近新聞見て。

本当に地域の方亡くなっていますよね。

月 3 人、4 人というのは、ひょっとすると当たり前かもしれない、そうしたらこの数字が本当に現実になっているかもしれない。

山内町は、8,214 人が 4,000 人になる。

それが 15 年後に迫ってきている。

本当、何とかしないとイケない。

そういう気持ちでこの壇上にいつも立っている上に、今回は前倒しという数字が出て、それを計算したら、非現実じゃなくて、本当にこれが現実になるんじゃないか、本当に心配しています。

地域コミュニティが崩壊します。

加速度的に地域が荒廃します。

本当に心配してる。

だからここで何度も何度も言う中で、今度はさらに加速がふえているという中で、今言わせていただいております。

2015 年に、2014 年だったかな、消滅可能都市、そういう言葉が出てきました。

そのときは全国で 896 の都市がなくなりますよということで、消滅可能都市として出てきました。

今年度の消滅可能都市が出てきました。

その中で市長が大学説明でよく使っていらっしゃる数字です。

そういう中で、前は 896 だったのに、今回は、744 になっている、全国。

減ってるんですよ、消滅可能都市が。

なして、何で。

見てみました。

それは、やっぱり、2014 年にそれが発表されたときに、本当、危機感を抱いて対策したところと、対策しなかったところの違いで、うちは消滅可能都市に入っていないから、別に対策しなくてもいいというところが、もう対策しなきゃいけない、そっちに入ってきた。その違いだと思います。

今回提案するのは、人口減対策戦略会議。

これはちょっと全国の例で使わせてもらったんですけども、2014 年に 896 の自治体が発表されたときに、その自治体がこれをつくりました。

半分かな、何割かがこれをつくって、対策しました。

対策して、消滅可能が消えたところ。

こういうのを置かず、対策をせず、小手先の対策しかなかったところはさらにひどい状況になりました。

武雄市も全体としては消滅可能都市には入りません。

ただし、武雄町、朝日町以外は壊滅状態になります。

ぜひ、武雄市もこの人口減対策戦略会議等をつくって、ぜひそういう減のところの対策を行

って、専門的といいますか、集中的に行っていただきたいと思います。
これを第一の質問にいたします。
よろしくお願いします。

議長／小松市長

小松市長／今、石破総理が地方創生に力を入れておられます。
地方創生というのは簡単に言うと、東京一極集中を防いで、そして、地方の人口減少を食い止めると、分かりやすくいうとそういうことだというふうに思います。
先ほど議員がおっしゃったように、大学の誘致についても、私はまず一番にその人口減少の話をしております。
人口減少対策はまさに喫緊の課題だというふうに思っています。
なので、今回、通告で総合戦略というのを上げておられますけれども、なので、そのために総合戦略をつくって、その中の主要指標としてやっぱりこう、人口数というのを入れているというのは、やっぱりそれだけ人口減に対する危機感の表れです。
ここについては、2050年に武雄市は3万6,000人になると、今から25年後、4人に1人いなくなりますよという話をいつも言っているんですけども、これが15年前倒しされるというのは、これは大変な、やっぱり危機感を持っていかなければならないと思っています。
そういった危機感をやっぱりみんなで共有して、行政だけではなくて、みんなでやっぱりそこを乗り越えていくというためには、私はこの会議というのは意味があるというふうに思っています。
一つのやり方として、今、総合戦略の会議がありますので、それを発展していくというのはあるというふうに思っておりますので、そういったのをひとつ念頭において、ぜひこの会議の設置を考えていきたいと思っています。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／もう、設置を考えていくということをおっしゃっていただいて、今日の一般質問はここで終わってもいいというぐらいの気持ちです。
本当にありがたい。
ぜひ、危機感を持って取り扱ってきた自治体、小手先しかやっていなかった自治体の結果が、2024年で大きく分かれました。
そのまま前回の発表で残っていたところも、今回の発表で新たに入ったところ、武雄市は絶対にそういうことがないように。

そして、武雄市全体もそうですけども、減る周辺部のお手伝い、山内町、北方町は途中で合併しました。

合併して、クエスチョンマークと言われるよりも、合併してこうやった武雄市さんが助けてくれる、何とか我々のところも頑張ってくれる。

その他の町は昭和 29 年に合併しました。

そういう中で、衰退という言葉はずっと聞いてきた中で、今回これを、この戦略会議等で、本当に芯から見直していただける、考えていただける。

ぜひこれを活用し、例えば、何年前倒しが来ても大丈夫なような感じでやっていただければと思いますし、今の市長の答弁に心より感謝いたします。

これ、ちょっとすみません、数字が見にくいんですけども、世帯数の推移です。

世帯数の推移、これ、すみません、武雄町、朝日町は抜いています。

もう、激増ですから。

橘町は、人口は 600 人減っているのに、世帯数は 1 割増えておる。

若木は、これも人口 600 人減っているのに、世帯数はほぼ変わらない。

東川登、東川登は、世帯数もやはり、人口も減って、世帯数も減っている。

西川登もそうです。

山内町は、人口が 2,000 人減っているのに、5 % も世帯数が増えている。

北方もそうです。

何でだろう。

こういうのも例えば、戦略会議の中で話していただきたい。

多分、1 世帯から分かれていっているんですよ。

1 世帯から分かれて、その地域に家を建てるか住んでいるかという。

これは、一つ、言葉でいえば郷土愛ですよ。

うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川。

もう、最近、卒業式でも歌わないですよ。

やっぱこういう郷土愛、この前、古賀議員さんが地域プライドみたいな感じで言われましたけれども、地域のやっぱりそういうふうなので、やっぱり教育委員会さんをもっともっと、もう、ふるさとして歌自体も今の子供知らないんじゃない、ですから。

やっぱり、そういうのも担っていると思います。

これはちょっと今、余談ですけども、これ、分かれていっていると思います。

地域愛で残っていらっしゃると思います。

ただし、この後に来るものは何か。

分かれた家族、世帯が分かれた。

元に住んでいる独居もしくは高齢者の家族、これが亡くなったときに、一気に空き家対策を

しなきゃいけない。

そういうのも読み取れてきます。

こういうのも戦略会議とかで話していただきたい。

ぜひそういうのも考えていっていただければと思います。

これをつくるということで言われていますけど、こういうのも話していただきたいんですけど、その手前にはやっぱりこういうのを、やっぱりいろいろ考えていただきたいというのがあります。

例えば、ライドシェア。

ライドシェアは先ほど松尾初秋議員さんもおっしゃいました。

これだけ金かけてこの効果なのかというところを、費用対効果のところを言われました。

古賀議員さんは別のところで「いってくっけん」でしたかね。

「いってくっけん」の5,000円の券を言われました。

例えば、古賀議員さんの地元の朝日町から武雄の町にタクシーで行ったとしたら、5,000円 あったら2.5回往復できますよね。

5,000円で。

一律5,000円です。

じゃあ、私の地元、若木町とか、石橋議員さんの地元の西川登町からタクシーで行ったら、往復5,000円で足りませんか。

1回しか行けない。

だったら、周辺部のところは1万円にしますとか、2口買えますとか、そういうのに変えなきゃいけないんじゃないですか。

それで地域の住むのに迷惑がかからない、持続が可能になると、そういうことを考えていかなきゃいけないんじゃないでしょうか。

差がありますもん、同じ5,000円で。

下西山から武雄のまちまで、上西山から武雄には1,000円で往復できるかもしれない。

でも、田舎は1回しかできない、それで終わり。

これじゃあやっぱりね、田舎は不便と言われますよ。

それを補完するのが行政。

ようお金もかかります。

ライドシェア、もう既にライドシェアみたいなことを田舎はやっているんですね。

例えば民生委員さん。

民生委員さんは上田議員さんが質問されました。

民生委員さんは、近所の老人を車で乗せて、独居老人を行ったり来たりされていますよ。

一種のライドシェアじゃないですけども。

でも、それはお金は全く出ないんですね。

ガソリン代、これだけ高くなったのに、お金は出ない。

ライドシェアも、武雄の観光とか武雄からという頭は放って、外して、周辺部の買物難民、もしくは病院、そういう人たちのためのライドシェアを考えてみたらいかがでしょうか。

地域で、民生委員さんがやっていると言いましたが、民生委員さんはもう大変です。

ライドシェアのしていいのを決めて、その人たちが地域の人たちを送っていく。

そのときにこのライドシェアを使う。

そういうふうな、例えば地域で買物に行くとか、病院に行くのに、そういうふうな、もう既に地域でライドシェアの人間を決めておいて、その人たちにタクシー会社から通じてやるとか、そういう考え方もできると思います。

いろんな考え方で、ライドシェアは駅からどこどこ、飲み屋街からどこどこ、飲み屋に行くのにどこどこ、駅に行くのにどこどこじゃなくて、そういうふうな、ライドシェアを周辺部、山間地、独居老人、免許証返納者のためにライドシェアを使う、そういう考え方もできると思います。

先ほど松尾議員さんが、支払いどうするんだと。

現金でって。

僕、いつも使っているの、S u i c a っていうんですね、コンビニでもタクシーでもどこでも使えます。

これ、チャージです。

だからもし、ライドシェアとかたけお P a y を伸ばしたいなら、このチャージ式のカードを作って、これはもうチャージですから、そういうのを使って使いやすくしていく。

そういう考え方も、さっき言った、戦略会議で話せばいい。

ライドシェア、これも地域がそういうふうにできるような、地域互助のためのライドシェアというのは考えられないのか、1 番目、質問お願いします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／武雄市内では既に道路運送法第 78 条第 2 号の許可を得て、西川登町のかんころ号、それから、東川登町、しのめ号が、地元地域が実施主体となり、運行されております。

地域の方々が地域の移動手段の担い手になることも想定されますので、行政としてもそのような地域が事業主体となっていく移動手段の確保については、事業化に向けて地域とともに取り組んでまいりたいと存じます。

また、議員から御紹介いただきました支払い方法につきましても、多様化している現状から

踏まえ、たけおP a yの活用だとか、チャージ式のカードをできる限り柔軟に対応してまいりたいと考えております。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／よろしくお願いします。

例えば、民生委員を全員登録しておいて、そういうのに使ったときは民生委員さんにちゃんと報酬が行くみたいな感じでしていけば、民生委員さんにも負担が少なくなるんじゃないか。

もしくは、そういうのでいろんなのができるんじゃないか。

そういうことも考えていただければと思います。

では続けて、2番のたけおP a yです。

何か言い方おかしいですね、たけおP a yって。

林家ペーって、昔いましたよね。

たけおP a yなんですけども、たけおP a yというのは、今回、予算が出ている武雄プレミアムの券でも一緒なんですけども、大手しかも買わないんですね。

一番取るのは大手スーパー、地元じゃない大手スーパー、チェーン店、ドラッグストア、地域の商店何とかでほとんど使われないで、逆に、そっちのほうで使われると、地域の商店はマイナスになってしまうんですね。

うちもそうですよ、うちも商売やっていますから。

端末置けないですよ。

毎月これだけかかるっていうやつで、できないんですけども。

やっぱり、たけおP a yにしても、もう一つのプレミアム券にしても、軽々に、地方創生のお金が来たからって、市長の専決事項でぽんと出すのじゃなくて、やっぱり、全体が助かるような形で実行してほしい、このたけおP a yにしても。

だって、大手スーパーとかチェーン店とかドラッグストアに買物に出たぎ、そりゃあ消費者はいいですよ。

商売している方はマイナスになるんですね。

ぜひその辺を考えてやっていただければと思いますし、たけおP a yにしても、さっき言ったような、カードを作るとかなんとかやっていただきたいのですけども、いかがでしょうか。

議長／山北企画部理事

山北企画部理事／たけおP a yにつきましては、今年度、構築しまして、運用を始めましたので、これは一部、市内全体の事業者様に恩恵が行くように考えていきたいと思ひますし、

今後、チャージのほうもできるようにして、有効に使われるように検討していきたいと思います。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／続いて、物価高騰対策地方創生交付金、これを使って、プレミアム商品券とかたけお P a y をされているんですね。

先ほど市長が、石破総理が、地方創生大臣の話をされました。

地方創生大臣をされているときに武雄からも行ったんですね。

ここで行ったのは、豊村議員さん、上田議員さん、あと誰やったかな、一緒に、地方創生大臣のときに、地方創生大臣室で石破大臣といろいろ要望を話させていただきました。

そのときにこの地方創生交付金という話も出ました。

そういうとで、石破現総理は当時の担当相の時だったんですけども、武雄市さんとしては何がしてほしい、どういうことをしたい、どれぐらいお金がかかるとか、そういうのをもっと明確に出してくださいと。

そして、私がつくったこの地方創生交付金というのは、できるだけ地方が、私も鳥取出身ですと。

できるだけ、地方がいろんなことができるような、幅が広い輪を広めての地方創生交付金という形で出すようにしています。

総理になられて内容が変わるということはあるんですけども、この地方創生交付金、物価高騰に対しては何とでも言い訳が立つ、使いやすい交付金なんですね。

これからも地方創生交付金というのは出てきます。

そういう中で、いろんなメニューがある中、それこそさっき言いました戦略会議で、このお金はさっきのライドシェアのやつに使おうと、ライドシェアというのは周辺部のやつですね。

たけお P a y 何とかも周辺部のやつで、周辺部というか、人口減のところにやろう。

ややもすると、移住・定住、先ほど松尾初秋議員さんが言いました。

そういうのにも使えるかもしれない、そこまで幅が広いかもしれない。

そういうのを使うと、結構なお金があるんですね、億以上の。

だからそういうのをを使って、やっぱりやっていただければと思います。

これに関してもいろんなことができると思いますし、ぜひこういうのを使っていただきたい。

この後、定住策というところで言おうと思ったのですが、例えば、こういうのをを使って、ここも古賀議員さんがおっしゃった、例えば、地方に食料品とか日用品を届けるとくし丸さんとかセブンイレブンさん、今一番困っていらっしゃるの、ガソリンが高くなったってことですよね。

今まで往復 200 円のガソリン代で行けたのが、今、倍になってしまった。

そういうふうなのにこういうので支援事業という形で、ガソリン支援事業者指定みたいなのを、ガソリン代をして、ガソリン代高くなるとどうなるか分かりますか。

商売の基本で、物品に上乗せされるだけなんですね。

もしくは自分の利益を減らす、どっちかなんですね。

だから、そういうことがないよう、例えばこういうお金を使ってほしいという意味です。

ぜひ、こういうものの活用をお願いしたいと思いますけども、いかがでしょうか。

議長／松尾企画部長

松尾企画部長／物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するに当たり、事業を検討する中で、各部署から上がってきた課題や事業に対し、優先順位をつけて、交付金の活用を行っております。

今後、議員御意見の周辺部における事業費などの格差も考慮し、十分な検討を行って、実施していきます。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／ありがとうございます。

先ほどの市長の答弁の次にうれしい答弁でした。

ありがとうございます。

ぜひ実施していただければと思います。

では、4 番目、定住策。

定住策はもうさっき、松尾初秋議員さんもおっしゃいましたし、特にはないんですけども、この画像は、昔ですね、東京・有楽町で、武雄市の定住説明会のときに、我々議員も、議員というか、有志一同でお手伝いに行きました。

古川議員さん、当時の山崎鉄好議員さん。

これ、今一人座っていらっしゃいますけども、これお昼休みのときだったのでちょっと減ったんですけど、隣が大村市さん、佐世保市さん、その手前が佐賀市さんとか。

これも前、ここで言ったかもしれませぬ。

武雄市だけ列ができるんですね。

ほかは、ぽつりぽつりしか来ないのでですけども、武雄市だけ順番待ちで、整理券とは言いませぬけども、それぐらい来ていた。

ぜひ、こういう定住策、先ほど答弁でもう言われたので、これ以上は言いませんけども、本

当、頑張っているんじゃないかと思います。

動画も見ました。

それと、やっぱり動画の中でも、いかにも来てくれというような、いい動画ができておりますし、PRもされていますし、定住のいろんなところに行って頑張られていると思います。ぜひこの定住策、よろしくお願いしますとともに、前回12月で質問しました定住の区画をつけるときの補助金とか、そういう部分もぜひこの中でとか、他の補助金でできるような形で、例えば業者さんに1区画、これは鳥取県でしたかね、総理のお膝元の。

1区画500万の造成費用補助とか何とか出てましたよね。

頑張っているんですよ。

頑張って何とか抜け出そうとしているんですよ。

そういうときに国のやつを使って、ぜひ、そういうふうなところで、消滅可能、周辺部の町を助けていただければと思います。

定住策はさっき質問で答えられましたし、本当に頑張っているじゃない、本当に期待をしていますので、よろしくお願いしますとともに、もう一つ、武雄にはお結び課というのがあります。

やっぱり結婚しないとなかなか子供というのができない、できないという言葉はちょっと語弊がありますので、ぜひ頑張ってくださいたい。

そういう定住、そして結婚とかも一緒にセットで考えて、こういう補助金とかもいっぱい出して、武雄市に住んでいただけるよう努力をしていただければと思います。

これはもう、さっき松尾議員さんが質問されたので、この分の答弁は割愛したいと思います。

次は、農業問題。

農業問題で質問したいと思います。

農業問題で、耕作放棄地が本当に増えています。

これはもう、うちの地元だけではなく、中山間地を中心にでしたけども、今は平地でも、逆によく言う一等田んなかでもこういうふうな耕作放棄地が増えてきております。

これをどれぐらい把握しているか、最初にお伺いしたいと思います。

議長／木村農業委員会事務局長

木村農業委員会事務局長／モニターお願いします。

議員お尋ねの耕作放棄地の面積ですが、農林業センサスでは、平成27年度までは調査が行われておりましたが、その後は実施されておられません。

現に耕作しておらず、かつ引き続き耕作されないと見込まれる農地を、農地法上では遊休農地と言いますが、農業委員会では農業委員さんに毎年調査をしていただいておりますが、そ

の面積がモニターに示しているとおりで、令和５年度で、武雄市の農地面積 2,880 ヘクタールに対し、11.4 ヘクタールとなっております。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／さっきの数字なんですけども、こんなもんじゃないですよ、実際は。

やっぱり農業の方で耕作放棄地のきちんとした把握というのは必要だと思います。

耕作放棄地できたら、何が出るか。

ここは少し変わっております、画像のところは刈ってありますけど、水はけが悪くなる、水がたまる、もちろん草刈りもしなきゃいけない。

草が伸びたら害獣の巣になる。

この近くで耕作されているところにも、ここから虫が飛ぶ。

その耕作者も耕作意欲がなくなる。

悪循環です。

ぜひ、耕作放棄地に関しては、きちんとした把握をした上に、すみません、またそういう戦略会議とか何とかでまたそういうのに向けて話し合っていただければと思います。

農業は地域の基盤です。

農業はある程度、国防だと思っています。

国を守る、それはそういうふうな武器とかじゃなくて、きちんと日本の国土の保全を守ってくれている。

そういう意味での国防だと思っています。

ぜひこういうのを把握して、対策をしてほしい。

対策と言っても、国策なんですね、これは。

これ、江原議員さんが昨日言われていました、1995 年に食管法というのがなくなりました。

食管法は、今まで国が買い上げて、安い価格で下ろすと。

消費者に下ろすというのをやっていましたけども、1995 年にそれをやめました。

これは 1965 年に木材の輸入の税率がゼロになって、それから山が死んだというのと同じぐらいのインパクトがあります。

じゃあ、今、世界を見ますと、どうなのかと。

アメリカは生産者価格を日本と同じように高い価格に設置して、買い上げさせているんですね、生産者価格を。

EU、ヨーロッパはどうしているか。

EU のヨーロッパは、農家のそういう小麦農家とか、そういうふうな農家に対して、かたやアメリカは最低価格保証をしている。

E Uは農民の所得保障をしているんですよ。

所得をこれだけしているという保障をしています。

ですから、ほかの国は自給率 100%に向けて、いろんな、様々な手を取っているけど、日本はその逆を行っている。

これはもう本当、国策ですから、何とも言えない。

でも、本音は、政府は最低労働賃金を 1,500 円を目指しますとおっしゃっていますがけれども、1,500 円なんてしたら、本当に地域の経済、滅びますよね。

人来ない、雇えないですよ。

さらに一方、米作農家は、ある人に試算させたら、時給 9 円ですよ。

これじゃあいかん。

でも、国策だから、地方ではなかなか大きく変えることはできない。

だから、武雄市でできること、武雄市でこういうのを補完するのはどういうことができるのか。

例えば、江北町さん。

この前新聞に載りました。

田畑のそういうところの農業ラジコンの何ちゃらモア、僕忘れましたが、そういうのを購入し、そうやって、何て言うんですか、農業者の、どこかに委託して、農業者の労力をこれ以上使わせないようなということもやられています。

これもひょっとすると、人口低下の方策の一つかもしれない。

ぜひ、こういうのの米策農家のために何かできないか。

例えばですけども、ふるさと納税の話が何回か出て、ふるさと納税で米 3,000 円じゃなくて、安く買うんじゃなくて、逆ザヤ、高く買って、高く売る。

その送料は市が持つと。

そういうふうな考え方もできます。

農業者に高く払って、3,000 円のやつで売ると。

送料は市が持つと。

逆ザヤで、利益は全くない、逆に足が出る。

そういうふうなこともしないと、こういうお手伝いにならないと思います。

そういうふうな農業を、何かこう、できるような政策を考えていただきたいですし、腹立つのは、新聞、マスコミ、さっき帰られましたけども、佐賀新聞ですよ、佐賀新聞。

米 5 キロ 4,000 円、もう確かにこれは、あおりですね。

昔ですね、今もそうですけども、米が足りないといって、スーパーの米のところ、何も置いてないところを写すんですね。

あおっているんですよ。

昔、マスクがありませんって、マスク倉庫がありません。

トイレットペーパーがありませんって、この棚が空っぽのところばかり写す。

あおっている。

逆に、トイレットペーパーがないなら、トイレットペーパー工場に行って、皆さん心配しないでください、これだけありますよって、安心させなきゃいけないけど、あおっている。

***米5キロがいかにも悪。

さっき、前回の江原議員さんもちよつと言われました、大変です。

確かに大変ですよ、消費者は。

消費者は大変です、言った。

でも、農業者、すみません、うるさい。

農業者は、じゃあ、米5キロ4,000円で、時給1,500円もらえないです。

これぐらいにやって、赤、黒ぐらいですよ。

もっと農業者、生産者の立場に立てば、米の価格は高くあってしかるべき。

それと消費者の間にやるのが国であり、行政だと思っています。

ぜひこういうところを鑑みて、市でできること、ぜひ考えていただきたいと思います。

いかがでしょうか。

議長／小松市長

小松市長／お米については、私も先般、答弁をしましたけれども、消費者からの立場、そして生産者からの立場、やはり両方を考えていかなければいけないというふうに思っています。農業については、大変厳しい状況の中、とりわけ中山間地においてはイノシシとの戦いであったり、様々な、人口が減っている中で、手間も人一倍かかるということで御尽力いただいておりますし、今日の一つのテーマである周辺部、中山間地なんかは、やっぱり国土保全の最前線だと私も思います。

そこをしっかりとしていただいているから、平地の環境も成り立っていくということで、本当に頭が下がる思いをしています。

これまで、やっぱり負担軽減ということで、農業は国策ではあるんですけども、市でも何かできないかということで、これまで、例えば議員さんの御意見であったり、いろんな声を聞いて負担軽減を図ってきました。

草刈りの補助、草刈り機械の購入補助とか、あと、畦畔ののり面を芝生化すれば、まさに一番大変な草刈りも、労力も減るということで、そういうアイデアを入れたり、いろいろやっています。

やはり市として、一気に大きく変えることはできないですけども、やっぱりそういった声

を聞きながら、努力をずっと継続していくことが大事だと思っています。

なので、今後も引き続きいろいろな声を聞いて、そこはとにかく、いろんな取組を継続して重ねていくということが続けていって、少しでも負担軽減につながるようにしていきたいと考えています。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／今日は3番目にうれしい答弁でしたね。

そうやってやっていただき、継続して負担を取り除き、さらに今度の当初予算にいろんな部分を肉付けしていただく。

ぜひやっていただければと思います。

人口減の基本は、やっぱり農業、米作が駄目になったから、周辺部も減っていると思います。周辺部で米つくって、ひょっとすると2年つくれば軽自動車も買えるよぐらいになっていたら、ひょっとすると田舎にも出ていかないでずっといる、入ってくる人もいる、要だと思えますし、国策ですから何とも言えないですけども、先ほどの市長さんの気持ちは、多分、テレビを見ていた人たちの周辺部の方に伝わったと思います。

ありがとうございます。

では、次いきます。

水害対策、これもいっぱい出ました。

一番最後の質問というのは、楽でいいですね。

もう皆さん、質問されていますから。

この中で水害対策。

この前、水害対策委員会で、大和川、特定都市河川の先輩といいます、先進事例の大和川を見に行きました。

遊休地、5か所、広大な遊休地を5か所、遊休地じゃないや。

すみません、さっきの農業と間違えていました。

広大な遊水地が5か所、そのうち3か所は稼働し、2か所を今、建設中。

見てきました。

社会福祉協議会の地下にはパルテノン神殿みたいな水を入れるところ、見てきました。

多分、その委員会の皆さん、みんな入りました。

私はその穴に入るか、入らないかぐらいだったので、スーツが破れました。

本当にでも、そうやって一生懸命やられています。

ところが、やっぱり六角川、何とかしなきゃいけない、そういう思いでいますけれども、大和川の遊水地5か所、もしくは6か所に増やされているかもしれませんけども、その遊水の

総トン数を含めても、この六角川調整池のほうが大きいんですね。

六角川調整池のほうが大きい。

ということは、遊水地、大和川でやっている5か所、6か所のところを、10年、20年かけてやるのも並行して、ここのところをやれば早く済む。

これは一番最初を思い出しますけれども、2011年ぐらいだったですかね。

山口昌宏議員さんが最初にここで質問されて、それから始まったんですが、ちょっと年度は忘れましたけども、やっぱりそういうようなところで、ここはやっぱり要ですよ。

ぜひ強力に推進していただきたいと思いますし、もう一つ、六角川水系溜め池203か所、保水力は750万トン。

六角川水系には203か所の、武雄市にはか所があって、保水が750万トンされている。

一つの例で言うと、池ノ内溜池、宇宙科学館、うらりさん、あそこのところですね。

あそこをしゅんせつすれば、もう20万トンから30万トンが増えるんですね、保水で。

20万トンですよ。

20万トンと言えば、大和川の貯水槽、遊水池の一番小さいのと同じぐらいですよ。

こういうところをやっていただきたい。

国交省でもそういう予算もつけていただきました。

ちょうど、高市早苗議員のときだったですかね、総務省のときでしたとかね。

そういうふうな部分でやっていただきました。

ぜひそういうのを使って、普通、溜め池とか農のほうは、受益者負担がかかるんですね。

でも、国土強靱化の名のもとにそういうことをやれば、受益者、農業者への負担もかからない。

今言いました、池ノ内溜池だけでも、しゅんせつすれば20万トンから30万トンの貯水ができる。

ぜひ、これも進めていただきたい。。

ほかのところも15%しゅんせつすれば、100万トン以上の保水力が出てくる。

そういうのをぜひ、国土強靱化の補助金、国、県と合わせてやっていただければと思います。

あと、いつも言っている保水性アスファルト。

これから先は、どのアスファルトをするときも保水性アスファルトであれば、それだけで何万トンかになると思います。

ぜひこの3つやっていただきたい。

早急に、早急にじゃないや、さらに強く進めてやっていただきたいですけども、いかがでしょうか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／まず、六角洪水調整池の整備につきましては、現在、河道付け替えが行われておりまして、それに並行いたしまして、採石業者様との用地についての交渉も進んでおります。

今後も整備の早期実現に向け、国、県、市で協力しながら、さらなるスピード感を持って事業推進を図ってまいります。

それから、2点目の農業用溜め池のしゅんせつにつきましては、これまで緊急浚渫推進事業債を活用して実施してまいりました。

この起債事業は令和6年度までの事業であり、令和5年度から令和6年度の2か年で計10か所のしゅんせつ工事を行っております。

先般、総務省が発表いたしました新年度予算において、令和7年度から令和11年度までの事業延長措置が示されております。

今後も新たな事業計画箇所を整理し、さらなる事業推進を図ってまいりたいと存じます。

最後の御質問の保水性アスファルト舗装につきましても、有効な治水対策の手段と考えております。

今後、庁舎内外での連携を図り、公共施設等の整備や舗装工事を行う際には、可能な場所で行い、取り組んでまいりたいと考えております。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／この保水性アスファルト、前も言いましたけども、ヒートアイランド現象にも有効な手段ですので、***たまらんですよね、アスファルトの上で。

そういうのにも有効ですので、ぜひ拡大していただければと思います。

では、最後の質疑ですけども、特産品開発。

これはもう、いつも言いますが、これ、質問する理由というのが、昨年の決算の時か何かのときに、キュウリのレシピとかパンフレット、そういうのをつくるのに、大体100枚以上つくっているんですね。

そのときにちょっと指摘したのが、キュウリもいいけど、武雄ほかも特産あるんじゃないということでした。

そっちもやっていますということ。

キュウリは大体100万円ぐらいかけているけど、そっちの若楠ポークとかそういうのは大体1万円ぐらいしかやっていないと。

キュウリもいいですよ。

古賀議員さんが今回の質問でも、キュウリのやつをいっぱい言っていただきました。

キュウリもいいです。

キュウリも並行して、やっぱりこういうのも下ろさなきゃいけないから。

武雄で何々を食べようと***嬉野***何だっけ、豆腐か、豆腐とか、伊万里は伊万里牛食べよう、伊万里は新幹線ないですけども、そういうのがあるかもしれない。

だから、そういうのをやっていただきたい。

大豆もいいかもしれないけど、やっぱりこういう特産品があるから、やっぱり下ろさなきゃ。食ですよ、メインディッシュですよ。

何か言い方が松尾議員さんみたいになってきましたけども、やっぱりそういうふうな感じで、やっぱりつくらないといけない。

二千十何年までは、武雄市には特産品部会というのが設置されていました。

市からも20万から30万の特産品部会の補助が出ていました。

改めて新幹線が出た今、そういうふうな補助を、特産品部会を考えるとところをやらなきゃいけないと思いますし、武雄市のハブだけど、ハブに終わらず、下りていただくというところに、この食は大切だと思います。

ぜひ、この辺のところの御意見、そしてお考えをお聞かせいただきたいと思います。

議長／山崎営業部長

山崎営業部長／観光客の方についてというところになりますけれども、その地域ならではの特産品を求めることが多く、特産品は観光の魅力を高める要素の一つというふうに考えております。

特産品が話題になり、SNSや口コミで広がることで、さらなる観光客の誘致につながる可能性もあるというふうに考えております。

これまでも観光誘客チャレンジ補助金を活用することにより、先ほど御紹介いただきました高オレイン酸大豆やクラフトビールの商品開発などを支援しております。

引き続き、特産品開発が誘客につながるような取組を行う事業者に積極的な支援をしていきたいというふうに考えております。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／年度が始まる前の当初予算のときに、本当にいろいろ答弁で、力づけられる答弁をいただきました。

ぜひ、今度の当初予算に肉付けをしていただいて、実行していただければと思います。

1にも2にも3にも4にも、今日の市長のそういう人口減戦略会議の設置というのが本当に

うれしく、そして本当に重要だと思っております。

ぜひ、これを実行していただいて、周辺部。

これね、多分ね、こうやって入っていないところはつくっていないですね。

多分、全国で初めてだと思います、こういうところでそういう会議をつくるのは。

ぜひ実施して、減るところがもう分かっているのですね。

それと、15 年前倒しとなりましたけども、これがひょっとすると来年になったら 20 年になるかもしれない。

ぜひ、今のうちに手を付けて、対案をしていただければと思います。

質問を終了します。

議長／以上で、18 番 牟田議員の質問を終了させていただきます。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はここで散会いたします。